

平成 25 年度

訪問看護ステーションりふる 事業報告

平成 25 年度はここ数年では比較的落ち着いた年度になった。昨年度新採用の職員も業務に慣れ、1 人立ちができるようになった。新たな居宅管理事業所とのお付き合いも増え、ますます順調に仕事量は増加してきたと考えられる。

1. 数値目標

年度当初の目標は月 600 件であったが、残念ながらそれには及ばず、500 件にとどまったことは残念で、また来年の課題としたい。同様に収入も目標+100 万円が+50 万円となったことは残念であった。

2. 役割分担

業務分掌による役割分担はようやく職員の間浸透してきたと思われる。毎月の決められた業務は滞りなく行われるようになった。パソコンによる文書作成もスムーズに行われた。

3. 職員教育

年度当初の計画はほぼこなせたのではないかと考える。短時間パートの職員にも研修会に参加できたことは有意義であった。しかし、今年は、外部研修がかなり多く、セレクトして参加を行っていたが、何が本当に必要かを考えていく必要があると考えられる。

(別紙参照)

4. 対外アプローチ

居宅管理事業所、病院、開業医との関係は引き続き良好に行っていた。

5. 法令順守

違反するようなことは何もなく 1 年を過ごすことができた。

6. 中、長期的課題について

今年は地域包括ケアシステムが提案され、訪問看護においても 24 時間巡回型や、複合型サービスへの参入が推進された。しかし、長浜市や滋賀県においても参入のステーションはなく、しばらく様子見の状態では仕方がないかと考える。ともあれ、在宅重視の医療になっていくことは間違いなく、サービスの質の向上をめざし、どのようなシステムにも対応できるように心掛け、研修を重ねていく必要がある。当ステーションとしては、まだ、経験の浅い職員もいることから知識、技術の均一化、向上を当面の課題とするものである。

平成 25 年度

ケアプランセンターりぶる事業報告

1. 数値目標

25 年度当初の数値目標として年度内の利用者数 80 名程度を目標としていた。年度途中でのスタッフ増員もあり結果 3 月末の時点で利用者数は 91 名であった。目標数値は達成できたが、スタッフ数から見ると利用者数が少なくなっている。新規契約数は 55 件であるが、予防給付への移行、入所や死亡による解約もあり、利用者数が増えない原因になっていると考えられる。

2. 法人との連携

デイサービスはきい家、離れを含めて 35 名から 40 名常に利用者があった。紹介率としては 54% 程度であった。同じくごきげんさんに関しても常に 15 名前後の利用者がおり、照会率は 43% 程度であった。訪問看護に関しては利用者数 25 名前後で紹介率は 89% となっている。

3. 職員教育

25 年度は、各スタッフが計画していた研修に参加できたと思います。引き続き、各スタッフの自己研鑽のため研修に参加できるよう環境整備を行いたいと考える。

4. その他

年度途中での管理者変更となったが、既存スタッフの協力のもと無事に年度を終了することができたことに感謝している。引き続き、各スタッフの質の向上と利用者に対する丁寧な対応、医療と介護の連携の確かさ、法人内の連携に期待しての評価だと考えられる。今後とも努力を重ね、来年度も目標に近づけられるように邁進したいと考える。